

新総合計画の全体構成（素案）

Ⅰ．基本的な考え方

審議会・起草委員会の意見を反映し、

- ①市民にわかりやすい表現・構成・内容
- ②仙台らしさを基調として未来に希望をつなぐ視点を重視
- ③「市民の力」を重視
- ④4つの都市像の方向性を踏襲。統合した上位の目標を設定
- ⑤現行の基本構想・基本計画に重複感があったため、整理すると共に、分野（組織）横断的視点を盛り込む

Ⅱ．枠組み・スケジュール（案）

新総合計画＝基本構想＋基本計画＋実施計画

- 基本構想と基本計画は、審議会の答申を踏まえ平成23年仙台市議会第1回定例会に提案予定。
- 実施計画は、上記議決を踏まえ平成22年度中に策定予定。

基本構想の構成と骨子（案）

1. 仙台の未来へ

- ・人口減少・低成長・地球環境の時代において、仙台の「資源」と「市民の力」で将来に希望をつなぐような未来志向の記述

2. 将来の都市の姿（都市像）

- ・4つの都市像とそれらを統合した上位の目標を設定

3. 仙台の市民力 ～行動する市民力～

- ・市民の知恵と力を合わせて未来を切り開く姿勢を示す

4. 推進に向けて

- ・総合計画全体の推進に向けた基本的な考え方

1. 仙台の未来へ

- ・基本構想は、将来目標のもと、仙台市民と行政が手を携えて行動していくための指針

- ・仙台を取り巻く時代環境を的確に受け止め、誇るべき仙台の資源と市民の力を生かし、将来目標の実現を図る

<誇るべき仙台の資産>

杜の都の恵み、歴史と伝統、学都の知的資産や都市機能の集積、
市民主導の文化・スポーツの取組み、全国に先駆けた市民活動の積重ね 等

<仙台を取り巻く時代環境>

- ①東北全体の人口減少 → 仙台の比重増 → 東北の持続的発展の牽引役
- ②世界的な温暖化対策の本格化 → 杜の都の蓄積を活かした先進性を発揮
- ③成熟経済下で強まる財政制約 → 担い手増など、知恵と工夫で独自の対応
- ④近い将来確実視される宮城県沖地震 → 先進的な備えと地域での支合い

2. 将来の都市の姿（都市像）（1）

◎ 4つの都市像を統合する上位理念を設定（案）

「ひとが輝き 暮らし続けたい 杜の都」

（審）：「未来に恵みと希望を伝える仙台」

（現）：「市民主体の創造的な都市づくりを基調に据え都市像が調和・融合した21世紀都市・仙台をめざす」

* 4つの都市像の表現・内容の検討が必要（仙台らしい表現を工夫）

* 次頁の「想定分野」と基本計画の分野別計画の関係も検討が必要

2. 将来の都市の姿（都市像）（2）

①未来を育み創造する学びの都

想定分野：子育て・教育・若者・生涯学習・研究開発
情報化・文化スポーツ・歴史伝統 等

②支え合う健やかな共生の都

想定分野：社会福祉・高齢・障害・保健医療
男女共同参画・地域社会・消防・防災 等

③自然と調和し持続可能な潤いの都

想定分野：地球環境・土地利用・自然・資源循環
緑地保全 等

④東北を支え広く交流する活力の都

想定分野：産業経済・都市整備・交通・物流・広域連携
国際交流 等

3. 仙台の市民力

- ◎ 現行基本構想の基調である「市民主体の創造的な都市づくり」を発展
 - ⇒ 「市民力」は仙台の将来目標の実現に不可欠
 - ⇒ 「市民力」発揮のために重視すべき視点を示す
- * 仙台市民＝仙台に暮らす人、働く人、学ぶ人、企業・団体・NPO等

＜重視すべき視点（案）＞

- ・ 「課題に対して主体的に行動する」、・ 「支え合い、ともに生きる」
- ・ 「知恵を集め、創造する」
- * これまでの実績や期待する力（課題解決力、創造力）に加え、「市民力を育む仕組み」の記載を検討
- * 従来型の市民協働にとどまらない新たな枠組みも検討
- * 基本構想・基本計画の推進の記載との関係で整理・検討が必要

4. 推進に向けて

- ◎ 総合計画全体の推進にあたっての基本的な考え方を示す
- * 担い手・推進力としての「市民力」の扱いも含め、「基本計画の推進」部分の検討を踏まえながら整理

基本計画の構成と骨子（案）

1. 計画の基本的考え方

- 基本計画の特色、重点政策目標などの基本的考え方

2. 計画のフレーム

- 10年の計画期間と人口フレーム 等

3. 分野別計画

- 政策分野別の計画。分野の組立は要検討

4. 区別計画

- 総論と各区ごとの区別計画で構成

5. 基本計画の推進

- 総合計画推進部分の各論

1. 計画の基本的考え方

◎基本計画の特色や「重点政策目標」等の考え方を示す

*内容は、以下の点も含め、個別計画検討の進捗状況等も踏まえ検討

- ・分かりやすい数値目標の設定（CO₂総量等の環境指標等）
- ・重点政策・分野横断的なプロジェクトの設定
- ・目指すべき都市空間構成の枠組み（グランドデザイン）

2. 計画のフレーム

①計画期間：2011年から2020年までの10年間

②人口フレーム

1900－2100年の国・東北・仙台の動向
計画期間内の仙台の夜間人口（人口構成）
昼間人口・産業別就業者数 等で構成

* 交流人口の方向性も記述

* 推計人口と政策的観点の関係は要検討

3. 分野別計画

○わかりやすさとバランスを考慮⇒2つの政策分野を設定

○政策分野ごとに動向・課題と施策体系を設定

○施策体系ごとに基本目標と基本的施策の設定

①「市民の暮らし」に関する分野

- ・市民一人ひとりの「暮らし」と生活の場である「地域」に着目
- ・子ども・若者・高齢者等のライフステージ、地域の安全・快適等を想定

②「都市の魅力」に関する分野

- ・環境・交通・都市機能や経済、都市の魅力づくりを体系化
- ・産業活性化、杜の都の持続的発展、観光、イベント・まつり、広域連携、国際交流等を想定

* 両方の分野にまたがる領域や両方の視点が重要な施策について検討

* 基本目標、重点政策・プロジェクトとの関係についても検討

4. 区別計画

◎総論＝区別計画の目的・構成・基本的視点等

◎区別計画は、各区が主体となり、地域住民の意見やニーズを踏まえながら策定

- ①区の将来ビジョン（区の特性・現状・課題を含む）
- ②主な施策の基本方向
- ③地域ごと施策の基本方向（課題や展望を含む）

*最終的に審議会に報告し、答申に内包する手続きを検討

5. 基本計画の推進

○総合計画の推進部分の各論

- ・新たな市民協働のあり方
- ・庁内横断的取り組み
- ・行財政改革の推進
- ・計画的推進 等を想定

*構成も含め、引き続き内容を精査・検討

(参考) 実施計画概要 (案)

◎基本計画の中期的行動計画

分野別計画・区別計画に基づく中期的期間の事業内容

*** 計画期間＝3 年を基本に検討**

*** 具体の構成・内容、財政的裏づけも含め検討**